
環 境 活 動 レ ポ ー ト



活動期間 令和5年1月～令和5年12月

株式会社タイセイリサイクル

〒359-0011 埼玉県所沢市南永井 578-1

[電話] 04-2945-1190

[FAX] 04-2945-6871

令和6年3月13日作成

1. 組織の概要

(1) 事業所名

◆ 株式会社タイセイリサイクル

代表取締役： 千田 英浩

所在地： 埼玉県所沢市南永井 578-1

設立： 昭和 47 年 11 月 1 日

資本金： 1,000 万円

売上高： 55,855 万円（令和 5 年 3 月期）

敷地面積： 1,286 m²

従業員数： 29 名

連絡先： 04-2945-1190

事業内容： 産業廃棄物収集運搬業（積替保管含む）及び産業廃棄物中間処分業

駐車場： 所在地同上 380 m²（無人）

(2) 環境管理責任者

責任者氏名： 石本 英和

連絡先： TEL:04-2945-1190 FAX:04-2945-6871

URL： <http://www.aisei-recycle.com/>

(3) 廃棄物処理料金

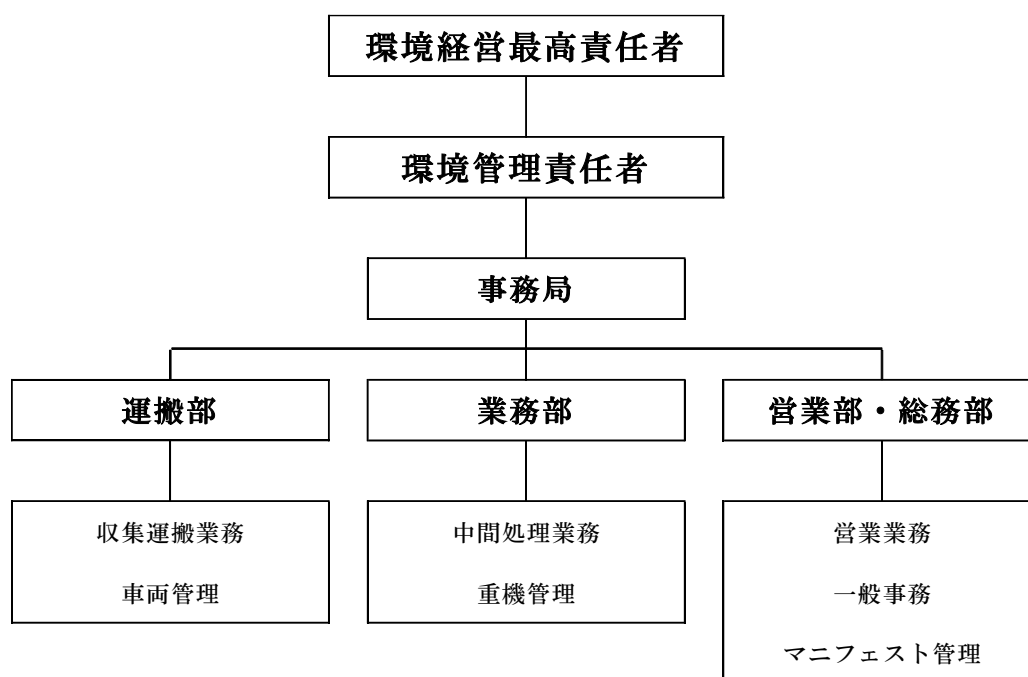
廃棄物処理料金は廃棄物の内容等により異なります。

営業部（TEL 04-2945-1190）までお問合せ下さい。

(4) 環境活動レポートの公表の方法

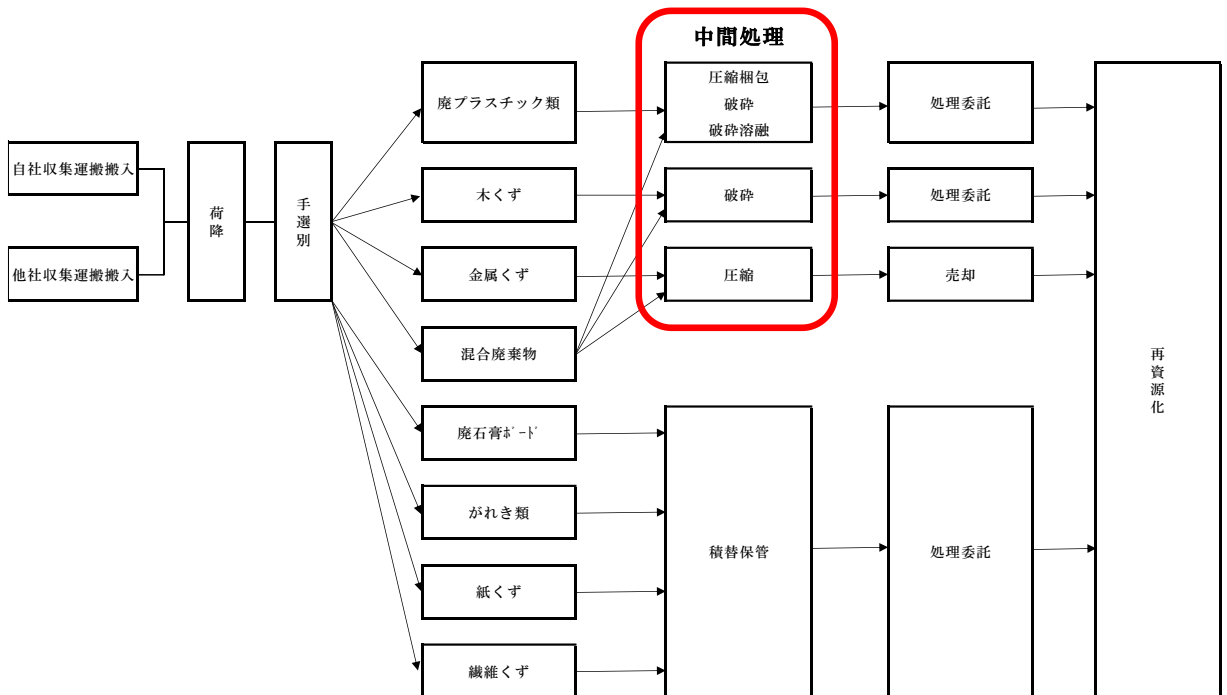
この環境活動レポートは社内に常備し、ご要望があれば差し上げます。

(5) 環境管理体制図



環境経営最高責任者	・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境方針の策定 ・ 取組状況の評価、見直し、指示
環境管理責任者	・ 環境システムの構築、運用 ・ 環境目標の策定 ・ 全従業員への教育訓練の実施 ・ 取組結果を最高責任者へ報告
事務局	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境関連文書及び記録の作成、管理 ・ 各部門のとりまとめ
部門長	・ 環境目標、環境活動の指示及び伝達
従業員	・ 部門長からの指示の実践

(6) 処理工程図



(7) 許可の内容

収集運搬業許可取得状況一覧表

都道府県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日	廃棄物品目名・許可取得状況														
				燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	鉱さい	ばいじん	13号廃棄物
東京都	1300007144	令和3年12月1日	令和8年11月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
埼玉県	01110007144	令和1年12月26日	令和6年12月25日	○	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	◎	◎		○	
千葉県	01200007144	令和3年10月19日	令和8年8月31日				○	○	○			○	○	○	○			
神奈川県	01401007144	令和4年6月15日	令和9年5月31日	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	
栃木県	00900007144	令和1年12月7日	令和6年12月6日				○	○	○			○	○	○	○			
群馬県	01000007144	平成31年1月21日	令和6年1月20日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
茨城県	00801007144	令和4年8月5日	令和9年7月30日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
宮城県	0400007144	令和3年10月21日	令和8年10月20日				○	○	○			○	○	○				

※◎は積替保管を含む。

処分業許可取得状況一覧表

都道府県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日	許可取得廃棄物品目名
埼玉県	01120007144	令和1年12月26日	令和6年12月25日	廃プラスチック類、木くず、金属くず、ゴムくず

(8) 保有車両・設備一覧

保有車両・設備一覧

種 類		積載量・能力	台 数	動 力
車両	2 t コンテナ	2,000kg	1台	軽油
	3t コンテナ	3,000kg	2台	軽油
	3t ユニック	3,300kg～3,750kg	4台	軽油
	4 t コンテナ	3,700kg～3,800kg	5台	軽油
	10 t コンテナ	10,800kg	1台	軽油
重機	ホイールローダ	3,835kg	5台	軽油
	油圧ショベル	0.28m ³	2台	軽油
	フォークリフト	350kg	1台	軽油
設備	油圧式圧縮機	18 t / 日	1台	電気
	破砕機	3.5 t / 日	1台	電気
	破砕機	15.6 t / 日	1台	電気
	圧縮梱包機	20 t / 日	1台	電気
	破砕溶解機	0.19 t / 日	1台	電気

(9) 処理実績

◇収集運搬の実績

産業廃棄物収集運搬実績量 16488.2 トン

◇中間処理の実績

中間処理

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理		廃プラスチック類	圧縮梱包、破砕、破砕溶解	t	1,351.20
		木くず	破砕	t	1,186.90
		金属くず	圧縮	t	293.40
		混合廃棄物	選別	t	2,367.80
	うち 再資源化等	金属くず	売却	t	293.40
		廃プラスチック類	売却	t	59.30
		小計		t	352.70
	合計			t	5,199.30

中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

産業廃棄物の 中間処理後の		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
	最終処分	廃プラスチック類	安定型最終処分(委託)	t	171.70
		混合廃棄物	安定型最終処分(委託)	t	172.20
		小計		t	343.90
	中間処理 (再資源化等)	廃プラスチック類	造粒固化、破砕減容	t	1,120.20
		木くず	セメント原燃料	t	1,186.90
		混合廃棄物	路盤材原料	t	2,195.60
		小計		t	4,502.70
	合計			t	4,846.60

(10) 施設の状況

処理施設の種類及び能力等

施設の種類	処理能力	産業廃棄物の種類	設置年月日 許可年月日 許可番号
破碎施設	3.5 t / 日 (8時間)	廃プラスチック類	平成15年3月26日 _____ _____
破碎施設	15.6 t / 日 (8時間)	木くず	平成6年12月26日 平成13年2月1日 破2-32号
圧縮施設	18 t / 日 (8時間)	金属くず	平成6年12月26日 _____ _____
圧縮梱包施設	20 t / 日 (8時間)	廃プラスチック類、ゴムくず	平成6年12月26日 _____ _____
破碎・溶融施設	0.19 t / 日 (8時間)	廃プラスチック類（廃発泡スチロールに限る。）	平成15年3月26日 _____ _____

保管施設の種類及び能力等

産業廃棄物の種類	保管の面積	保管の高さ等
廃プラスチック類	8.4㎡	1.5m（屋外） (8㎡コンテナ×1個)
廃プラスチック類（廃発泡スチロールに限る。）	6.6㎡	1.0m（屋外） (0.85㎡網カゴ×4個)
廃プラスチック類、ゴムくず	11.8㎡	1.0m（屋外）
木くず	17.4㎡	1.4m（屋外）
金属くず	8.4㎡	1.5m（屋外） (8㎡コンテナ×1個)

積替保管施設の種類及び能力等

産業廃棄物の種類	保管の面積	保管の高さ	保管上限
紙くず	5.4㎡	1.2m (屋外)	3.5㎡ (3.5㎡コンテナ×1個)
繊維くず	5.4㎡	1.2m (屋外)	3.5㎡ (3.5㎡コンテナ×1個)
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く） 及び陶磁器くず（廃石膏ボードを除く）	58.1㎡	2.5m (屋外)	83.4㎡
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く） 及び陶磁器くず（廃石膏ボードに限る）	15.0㎡	1.0m (屋外)	12.0㎡
がれき類	38.4㎡	2.5m (屋外)	58.5㎡

2. エコアクション 2.1 の登録認証の対象範囲

株式会社タイセイリサイクルは、全組織、全活動を登録範囲としています。

3. 環境方針

『基本理念』

株式会社タイセイリサイクルは産業廃棄物の収集運搬及び中間処分を業として行う上で、『整理整頓』をモットーとし、環境経営の継続的改善及び資源循環型社会の構築に貢献できるよう努めます。

『行動方針』

1. 環境関連法規を遵守し、環境保全活動に積極的に取り組みます。
2. CO2 排出量削減のために、全車両がエコドライブを実施します。
3. 受託した産業廃棄物の選別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 水資源有効活用のために、雨水の徹底使用に努めます。
5. 事務用品等のグリーン購入を推進します。
6. 環境教育・訓練の実施により、全構成員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識の向上を図ります。
7. 営業活動を通して、お客様に対し共に環境に対する意識を高めてもらえるよう努めます。

4. 環境目標とその実績及び取組み結果の評価

(1) 環境目標

取組項目		令和 5 年 (前年度比)	令和 6 年 (前年度比)	令和 7 年 (前年度比)
総エネルギー 投入量	ガソリン	-1%	-1%	-1%
	軽油	-1%	-1%	-1%
	灯油	-1%	-1%	-1%
	電気	-1%	-1%	-1%
CO2 排出量		-1%	-1%	-1%
廃棄物等排出量	再資源化物	-1%	-1%	-1%
	熱利用等	-1%	-1%	-1%
受託した産業廃棄物再資源化率		±0%	±0%	±0%
水資源使用量	上水	-1%	-1%	-1%
グリーン購入		+1%	+1%	+1%

※化学物質については使用していない為、目標を設定しません。

(2) 実績及び取組み結果の評価

取組項目			単位	令和4年1月～12月	令和5年1月～令和5年12月			
				実績	目標	実績	実績(%)	結果
売上			百万円	554		528	-4.7	
総エネルギー投入量	ガソリン使用量	数量	ℓ	8649.75	-1%	7837.06	-9.4	○
		売上当たり	/百万円	15.6	-1%	14.8	-4.9	○
		ガソリン消費対象は営業車です。今後もエコドライブの徹底を維持し且つ効率的な巡回コースを組むことによりより一層の燃費向上相乗効果を高めていきます。						
	軽油使用量	数量	ℓ	115772.62	-1%	120381.93	4.0	×
		売上当たり	/百万円	209.0	-1%	228.0	9.1	×
		軽油消費対象は収集運搬車両及び工場内移動の重機類が該当します。目標値を達成していることを鑑みても全ドライバーのエコ意識が向上していると思われます。今後も継続してまいります。						
	電気使用量	数量	kwh	18425	-1%	18142	-1.5	○
		売上当たり	/百万円	33.3	-1%	34.4	3.3	×
		実績量としては減少しました。今後も節電に意識してまいります。						
	CO2排出量		数量	kg-CO2	328526.0	-1%	338382.6	3.0
売上当たり			/百万円	593.0	-1%	640.9	8.1	×
目標値を達成できませんでした。今季途中で新事務所への移転もあり、規模が大きくなったことを含めた結果と見られます。今後は今期の結果を基に新たにに取り組んでいけるよう、更なる努力で邁進していきたいと思います。								
廃棄物等排出量	再資源化物	数量	kg	30.61	-1%	33.62	9.8	×
		売上当たり	/百万円	0.0553	-1%	0.0637	15.2	×
	熱利用等	数量	kg	36.57	-1%	26.91	-26.4	○
		売上当たり	/百万円	0.0660	-1%	0.0510	-22.8	○
	若干紙使用量が増加したものの、全体的に廃棄物量を削減できました。今後も継続してまいります。							
受託した産業廃棄物再資源化率		数量	%	93.5	±0%	96.2	2.7	○
		大幅に目標達成できました。今後も処分先の開拓、取引先様への協力要請等埋立率の減少の為努力してまいります。						
総排水量(水使用量)	上水	数量	m ³	148	-1%	216	45.9	×
		売上当たり	/百万円	0.2671	-1%	0.4091	53.1	×
	全体量として増加しました。新事務所への移転が要因と考えられます。今後も雨水を最大限再利用し、節水に努めていきたいと思います。							
グリーン購入		数量	%	36.0	1%	43.0	7.0	○
		今後も発注の際に配慮していきます。						

※購入電力による二酸化炭素排出係数は、0.53kg-CO2/kWh(日本電力)、0.45kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー)を採用します。

※化学物質については使用していない為、目標を設定しません。

5. 環境活動計画とその取組結果及び評価、次年度の取組内容

	取扱項目	取組結果	次年度の取組内容
電力使用量の削減	消灯の徹底	○	消灯の徹底
	空調温度の適正化	○	空調温度の適正化
	クールビズ、ウォームビズの実施	○	クールビズ、ウォームビズの実施
			温度管理の徹底
自動車燃料の削減	エコドライブの実施	○	エコドライブの実施
	エリア別営業活動の見直し	○	エリア別営業活動の見直し
	アイドリングストップの徹底	○	アイドリングストップの徹底
	燃費のよい車の購入(更新時)	○	燃費のよい車の購入(更新時)
			効率的なルートの構築
廃棄物排出量の削減	分別の徹底	○	分別の徹底
	シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	シュレッダー廃紙のリサイクル化
	電子マニフェストシステム導入率アップ	○	電子マニフェストシステム導入率アップ
			使用済封筒の再利用
リサイクル率の向上	分別回収の推進	○	分別回収の推進
	選別の徹底	○	選別の徹底
			リサイクル業者の開拓
水使用量の削減	雨水利用の徹底	○	雨水利用の徹底
			節水意識の向上
グリーン購入推進	グリーン購入対象商品の優先購入	○	グリーン購入対象商品の優先購入

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

過去3年間、環境関連法規等を遵守し、違反、訴訟等も無く、関係機関等からの指導もありませんでした。下記が、主な適用法令と評価結果です。

法令・条例 その他の要求事項	該当設備等	評価結果
廃掃法	産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業	○
家電リサイクル法	事務所内家電	○
騒音規制法	破砕機、油圧プレス	○
振動規制法	破砕機、油圧プレス	○
埼玉県生活環境保全条例	産業廃棄物処理施設 及び保管施設	○
自動車NO _x ・PM法	収集運搬車両、営業車	○
自動車リサイクル法	収集運搬車両、営業車	○
オフロード法	場内重機	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	○

7. 代表者による全体の評価と見直し

●環境管理責任者からの報告

項 目	状 況
環境目標の達成状況	CO2 排出量削減:目標 前年度比 1%減 ⇒ 実績 3.0%増 × 売上比 8.1%増 × ガソリン使用量削減:目標 前年度比 1%減 ⇒ 実績 9.4%減 ○ 売上比 4.9%減 ○ 軽油使用量削減:目標 前年度比 1%減 ⇒ 実績 4.0%増 × 売上比 9.1%増 × 電気使用量削減:目標 前年度比 1%減 ⇒ 実績 1.5%減 ○ 売上比 3.3%増 × 廃棄物量削減(受託分):目標 リサイクル率±0% ⇒ 実績リサイクル率 2.7%増○ 水使用量削減:目標 前年度比 1%減 ⇒ 実績 上水 45.9%増 × 売上比 53.1%増 ×
法令等の遵守状況	令和 5 年 9 月 25 日確認の結果、問題なし
外部からの苦情・要望	苦情・要望なし
改善のための提案	全体的に目標を達成できませんでした。 新事務所への移転があり、上水、電気の使用量増加は仕方ないとしても、ガソリン、軽油使用量増加は若干であっても要注意です。 今後も定例ミーティング等でのコミュニケーションを深め、各自がエコ意識を高め目標達成を常態化できるようにしたいと思います。

●社長の評価・見直し

見直し、指示事項	新事務所への移転もあり、今後の環境目標を考慮する必要がある。 引き続き事前従業員への理解と協力を求めるようにすること。				
見直しの必要性	環境方針	環境目標	環境活動計画	実施体制	環境経営システム
	☐ 要 ☒ 否	☐ 要 ☒ 否	☐ 要 ☒ 否	☐ 要 ☒ 否	☐ 要 ☒ 否